

広報



第536号

あくね

阿久根特産
アクネ
うまいネ
自然だネ



平成3年

9月号

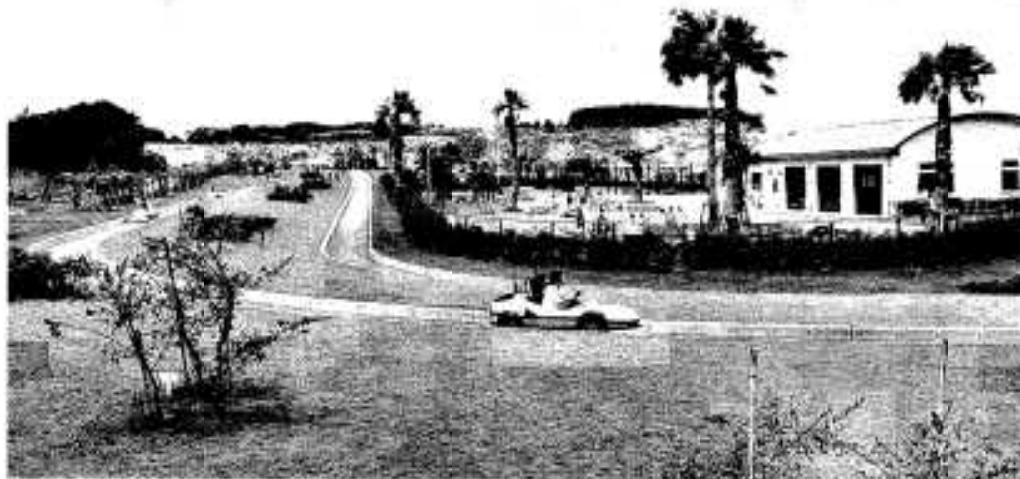
大きくなって帰ってきてネ

臨本海岸で子ガメを放流

昨年からは本格的な保護パトロールが始まった臨本海岸で、今年初めてアカウミガメの卵がふ化し8月17日早朝、子どもらの手により子ガメの放流が行われました。6月中旬ごろ産卵された卵を、保護監視員の原崎寿一さんと山口勝彦さんが波の影響を受けない場所に移し、保護していたもので、この日は16、17日の朝にそれぞれふ化した約160匹を放流。波に押しもどされながらも懸命に沖へ泳ぎ出す子ガメを、子どもらは「元気に大きくなって、また帰ってきてネ。」と、いつまでも見送っていました。

快適で住みよい環境整備都市へ

リード
21世紀



大型レクリエーション公園として整備が進む番所丘公園

第三次総合開発計画から二十一世紀をよむ

社会、経済の発展は私たちの暮らしを豊かにする反面、同時に社会構造を複雑にし、快適な生活、良好な自然環境を破壊する怖れがあります。総合開発計画では、基礎整備の促進とともに、住民参加による都市づくりと、環境に対する意識高揚がうたわれています。美しい環境を残し、誰もが安心して定住できる都市づくりの手法を市民の皆さんとともに考えていきましょう。

快適で、安全で、そして清潔な生活を営み定住を促進するためには、緑と光が溢れる住みやすい生活環境が必要で

す。
今日、都市化の進展や自由時間の増大などに伴って良好な生活環境や自然との触れ合いに対する市民の関心は高まりつつあります。こうしたことから、本市域の限られた土地、水、また豊かな自然環境の保全と活用は極めて重要といえます。

アメニティ都市を創造していくためには、市民の安全性の確保と計画的な生活関連施設の整備が必要です。また、生活環境維持保全のために積極的に市民参加を促し、コミュニティの醸成につとめながら、潤いや安らぎのある快適で住みよい環境整備都市を目指してまいります。



土地区画整理事業の推進と都市機能の充実を

都市づくりは、快適で住みよい生活を営むための基本であり、今後は生活文化の向上に見合う良好な居住環境を確保する必要があります。

市街地については、宅地需要が市街地周辺部へ伸びていることから土地区画整理事業の推進が重要となっており、用途地域指定による秩序ある土地利用と、潤土地地区画整理を中心に計画的な整備を進めていきます。

また、従来の都市機能に加え、近年はより高次の豊かさとして景観や快適さに対するニーズが高まってきており、今後は都市機能（行政、商業、流通サービス、文化等）の強化をはかるとともに、個性ある市街地の形成を目指してまいります。具体的には、リゾート施設、温泉を活用した宿泊ゾーン、文化会館などのカルチャーゾーン、阿久根駅



着々と造成が進む潟地区

及び阿久根漁港周辺についてはアクネウまいネ自然だネセンター（仮称）の建設も含めて複合機能をもったゾーンとして整備を進めていきます。

公園については、市民生活にやすらぎと潤いを与える場であるとともに、コミュニティ活動や子供達の感受性を豊かにする場でもあり、今後とも近隣住区レベルの公園、遊び場を計画的に整備してまいります。

また、市民のスポーツ・レクリエーション需要に対処するため運動公園の整備拡充につとめさらに、市民ニーズに対応した番所丘公園の整備を総合的に進めてまいります。

下水路の整備と河川の水質保全については、本市の自然環境を保全するうえからも重要な課題であり、地域に合った生活雑排水処理計画を検討し、段階的に事業を進める必要があります。まず公共下水道については、基礎調査の検討を踏まえ、終末処理場の選定を進めながら早期建設につとめていきます。また都市下水路の整備を進め、併せて大橋川、鶴見川の整備をはかっていきます。その他、下水路未整備地区については、道路側溝の整備とともに総合的視点から計画的に整備を行い、農材部における生活雑排水処理については、農業集落排水事業等を推進し公共水域の水質保全につとめていきます。



快適で文化的な定住社会を形成するために、恵まれた自然環境を活かし、緑豊かで良好な都市の環境確保をはかり、潤いのある居住環境を整備する必要があります。

高齢者住宅などのニーズに応じた住宅開発も

本市の公営住宅は平成二年度現在、市営住宅が五百六十六戸、県営住宅が百六十九戸あります。簡易耐火平屋住宅が多く駐車場等も充分整備されておらず、住宅の質的向上のニーズへの対応が遅れているのが現状です。



新しい市営住宅「鶴見タウン」

また、本市の住宅事情は戸数面では一応の量の充足はなしているものの、老朽化した木造住宅やがけ地近接住宅も多く、環境面並びに質的水準の面で未だ低い水準にあるといえます。今後は、本市の地域特性に合った住宅整備を進め、公営住宅については質的向上をはかるとともに多様な要望に対応するため一戸建住宅の建設を促進しま

す。また、急傾斜地崩壊危険地区の調査やがけ地近接危険住宅移転事業を促進し、危険住宅の解消をはかります。

さらに、企業誘致の条件整備として企業住宅用地の確保と高齢者住宅、後継者住宅、社会情勢及び地域ニーズに応じた住宅の開発、整備、住宅建設の民生活用をはかるなど、総合的な住宅建設を推進していきます。

ゴミ減量化へ向け意識の改革を積極的に推進

今日の生活水準の向上、都市化の進展による生活環境の悪化は複雑多岐にわたり増加の傾向にあり、特にゴミの発生量は毎年増加、多様化してきています。これらを適正に処理するため施設の整備充実につとめるとともに、ゴミ減量化への意識の改

革を積極的に推進し、市民参加によるゴミの減量化、不可燃物の分別の徹底、一般廃棄物と産業廃棄物との分別の指導、不法投棄の取り締まりなど、市民・行政一体となった取り組みを展開していきます。



ゴミにも責任を持ち、減量化につとめましょう

し尿処理については、既に処理能力が限界に達しており、公共下水道等の整備による生活排水をも含めた汚水処理全体の中で対策を講じていきます。

火葬場の建設については、新畜場としての機能拡大、施設設備の充実をはかり、さらに基地公園の建設を促進し、墓地不足の解消につとめていきます。

生活様式の向上や企業立地等で需要の増大が予想される水資源については、上水道第五次拡張計画において水資源の調査開発を積極的に進め、総合的かつ計画的な水の確保につとめていきます。

また簡易水道においても、維持管理や運営面において適切な指導を行っていくとともに、老朽化した施設や配水管等の改善を進めていきます。



施設の充実が望まれる市火葬場



機動力の強化と消防団員の確保を

本市では現在、署員三十二名を要する常備消防と団本部二十一分団、定員三百三十七名からなる非常備消防をもって、あらゆる火災、災害防止等、市民の生命と財産を守るため献身的な活動を実践しており、さらに数地区において自衛の消防組織が形成されてきています。

しかし、経済情勢等の進展に伴い、各団員もサラリーマン等が多く、会社や市外勤務も増えてきており、緊急時において指

令伝達ができず、消防活動に影
響が出てきています。また、過
疎化により団員確保が困難とな
ってきており、同時に団員の高
齢化が進んできています。



団員確保が今後の課題
(新入消防団員訓練)

これらに対処するため、災害
時において団員が勤務している
会社等に出動要請を働きかけ、
早期出動体制の強化につとめる
とともに、就業機会の拡大、勤
労者の市外流出を防ぎ、地域の
実状にあった団員の確保につと
めていきます。

消防機械力の整備は年次的に
はかられてきていますが、近年
家屋の密集化、高層化、油・ガ
ス製品など燃焼物質の増加等に
より消防業務は益々複雑多岐に
なっており、今後もししこ車や
化学消防車等の機動力を強化す
るとともに技術力の向上をはか
つていきます。



今後、消防機器の整備は必要

本市においても救急車三台を
配置し、救急業務を処理してい
ますが、今後市民の生命を守る
ために救出から応急医療まで一
貫して行える体制を確立すると
ともに、大型救急車と救助工作
車の整備をはかり、併せて救急
業務に従事する隊員の増強と専
門化、技術の向上につとめてい
きます。

救出から応急医療まで 一貫した救急体制の確立を

自動車の大衆化に伴い交通量
が増大し、交通事故も増加の一
途をたどり、また急病や突発的
事故の発生等により、救急業務
は一段と重要視されてきていま
す。

防災意識の高揚と 予防対策の充実強化

国の災害対策基本法に基づき
本市でも昭和三十八年に阿久根
市地域防災計画を作成し、防災
体制の確立と計画的な防災行政
を推進してきています。

しかし、本市をとりまく地形、
気象条件等の自然条件は、災害
が発生しやすい状況にあり、台
風時など海岸線や河川周辺は災
害を受けやすい特殊な地形とな
っています。

今後とも河川改修、油山、治
水事業等を積極的に導入し、さ
らに海岸の浸食及び高潮対策等
の施設整備、防風林の造成、水
源涵養保安林の造成等、国土の
保全、災害防止等の事業を推進
していきます。

また、地域住民の安全を確保
するため、防災無線の設置をは
かるなど、住民一人一人が防災

来年5月の操業目指し起工 鹿児島金属(株)阿久根工場



工場建設用地で行われた起工式

意識の高揚と防火思想の普及の
ため、自主防災組織の育成など
推進していきます。

今年五月に本市と立地協定を
交わした鹿児島金属(株)本社・
東大阪市の阿久根工場建設起
工式が、八月二十日、本市波留
字白駒の工場建設予定地で行わ
れました。

式には本市出身で同社会長で
ある倉津一人氏をはじめ、県、
市関係者、地区代表者ら約百十
名が出席。クワ入れなどが行わ
れ工事の無事と本市の産業・経
済の活性化を祈りました。

同社は精密ボルト、各種金属
パーツ類のメーカーとして知ら
れており、阿久根工場では主に
建築・土木部品及び自動車部品
を製造する予定です。工事は三
期に分けて行われ、総面積七万
三千二百一平方メートルの敷地に、今
回は第一期工事として、幅二十
二メートル、長さ百一十メートルの鉄
骨平屋建て一や多目的棟などを
建設。来年五月一日に操業を開
始する計画です。

初年度七十人を雇用する予定
ですが、既に五十二人について
は地元採用され、現在大阪工場
で研修中です。将来的には同社
の生産部門を全て本市に移す計
画で、平成十四年には従業員五
百人、生産額百八十億円を目指
しています。

市内90歳以上は173人(男41人・女132人) 長寿一位は槁之浦キクさん(103歳)

平成3年9月 日現在(年齢は15日現在) ※敬称略

103歳 槁之浦 キク(新町)	中野 ジキノ(新町)	黒 藤 愛子(新町)	濱上 均(黒之上)
102歳 馬場 ミチノ(新町)	東新 小次郎(幸田)	中野 ヨシ(田代中)	堂之下 嘉壽(◇)
100歳 假屋 イロ(上野)	大川内 エキ(上原)	小田 庄吉(大尾)	山迫 十次郎(小瀬)
成尾 ルイ(新町)	洲崎 チカ(黒之浜)	吉岡森 ハツ子(◇)	90歳
98歳 尻無濱 フジ(尻無下)	93歳 花田 喜助(中屋敷)	青木 サヨ(筒田)	寺地 ヒロ(尻無上)
松永 アキ(牛之浜)	川畑 ノエ(牛之浜)	武宮 ハツギク(大谷)	川畑 ソメ(的場)
高良 武敏(大丸)	飛松 ヨ子(高之口)	91歳 鶴岡 小平(尻無中)	花木 チヲ(中屋敷)
宮田 サヨ(波留)	吉田 エキノ(大丸)	下蘭 フタキク(◇)	神之田 節(川畑中)
大瀬 チヨマツ(大瀬)	中尾 タメ(波留)	尻無濱 ハツケサ(尻無下)	川畑 キミノ(◇)
97歳 新藏 巳之助(新町)	尻無濱 市次郎(高松)	中野 季夫(的場)	川畑 ツル(◇)
高原 ツル(樽)	寺下 タ子(◇)	的場 セン(中屋敷)	佐濁 ヨ子(大川島)
96歳 若松 正一(尻無上)	白濱 律(◇)	中野 ハツノ(仲仁田)	落住 盛(落)
西田 駒助(高之口)	上野 照藏(上野)	松永 矢四郎(牛之浜)	猿蓑 ヲトマツ(佐濁)
坪久田 チセ(波留)	餅越 フク(◇)	東園 ナイ(大川島)	濱崎 エキノ(大丸)
宮園 シモ(◇)	坂元 ヨシノ(◇)	宇都 キク(馬見塚)	森 コト(波留)
小半田 キク(新町)	出口 宗太郎(新町)	尾上 シマ(飛松)	古園 銀藏(上野)
上野 ヤエ(羽田)	若松 キク(尾崎)	落 アキノ(◇)	中村 ナツ(◇)
園田 貞義(下桑)	二反 ツサイ(葦野)	東園 藤吉(高之口)	山下 廣太郎(新町)
95歳 川畑 ヒサマツ(川畑中)	築瀬 キサノ(米次)	佐濁 フチ(佐濁)	徳田 ツ子(◇)
西田 ヨシ(高之口)	松田 オイシ(段)	宮内 コナミ(波留)	谷口 タカ(◇)
池上 茂市(大丸)	竹田 スガ(牧内)	東 キミ(高松)	遠竹 スエノ(◇)
宮田 エタ(波留)	陣尾 ハルキク(陣之尾)	深堀 亀次郎(上野)	新町 オト(◇)
小田原 九蔵(浜)	押川 フサヨ(永田下)	大下 七蔵(◇)	末吉 ナヤ(遠矢)
有田 シナ(上野)	鹿越 林藏(永田上)	上野 フク(◇)	中村 ノエ(弓木野)
垂 アイ(◇)	南 ハツカメ(脇馬場)	日笠山 トメ(新町)	小野 フミエ(葦野)
荒田 フサキク(上原)	鶴濱 アサキク(脇本浜)	新町 ムツ(◇)	平田 セノ(横手)
笹原 ケサマツ(桐野上)	河北 センマツ(桐野上)	牛之濱 スマ(◇)	児玉 ケサキク(上桑)
山下 半兵衛(槁之西)	宮内 フイ(瀬之上)	丹宗 田鶴子(◇)	福田 信男(段)
大瀬 ハツカメ(大瀬)	武田 ヒサヨ(古里)	山下 スマ(◇)	小木原 チトセ(大尾)
94歳 若松 敏(尻無上)	八木 コメ(槁之西)	木下 義昭(遠矢)	神川 ハツキク(折口東)
下蘭 シラノ(◇)	福浦 セノ(黒之浜)	谷口 ハツエ(尾崎)	益田 勇吉(脇馬場)
川畑 伊勢菊(的場)	92歳 寺地 サト(尻無上)	平國 正兼(葦野)	川添 フヂ(◇)
神之田 勇助(仲仁田)	湯田 チヨ(尻無中)	松本 ツル(◇)	松下 スエノ(下村)
牛之濱 ススミ(牛之浜)	中村 シツ(的場)	田上 ハルギク(橋手)	深田 ミチエ(筒田)
中村 センミツ(◇)	神之田 エタ(仲仁田)	赤坂 藤吉(下桑)	笹原 次助(桐野上)
倉津 サエ(倉津)	佐濁 アイ(佐濁)	本 クノ(田代下)	山田 重次郎(古里)
崎山 鈴(町)	森山 トキヨ(濁)	園田 スイノ(大尾)	濱邊 アサノ(槁之東)
鶴崎 トメ(上野)	中野 アキノ(◇)	築地新 イセ(中村)	福留 進(黒之浜)
磯畑 イツノ(新町)	落 フサ(大丸)	田原 ヤエマツ(牧内)	宮原 トモ(大谷)
折橋 トキノ(◇)	濱田 藤助(波留)	西 孫次郎(丸内)	中川 ツル(松ヶ根)
	川原 菊枝(◇)	袋 チモ(大林)	竹原 半助(八郷)
	花木 ヒサ(◇)	小畑 テイ(折口東)	
	宮田 ヒモ(上野)	池崎 エキ(桐野下)	
	神川 信(新町)	松崎 ツヤ(瀬之下)	
	水間 ヨメ(◇)	桐野 ハナヨ(槁之西)	
	小園 ソヨ(◇)	福留 明(黒之浜)	
		濱崎 トキヨ(◇)	



十か条で老後を生き生きと

世界一の長寿国——日本。寿命が伸びると同時に寝たきり者の数も著実に増えてきています。現在日本には約七十万人の寝たきりの人がいると見込まれていますが、西暦二〇〇〇年には約百万人になるだろうといわれ

ています。

「年をとれば、寝たきりになるのは仕方がないこと」、「脳卒中にかかれば、寝たきりは避けられないもの」という考えが根強く残っています。しかし寝たきりは適切な訓練と介護を施せば十分に予防できるといわれています。

これからの超高齢化社会を生き生きと生きていくために、次の十ヶ条を参考に、寝たきり老人ゼロを目指しましょう。



寝たきり老人ゼロ作戦

訓練と介護で寝たきりは予防できる

平成二年度からスタートした、「高齢者保健福祉推進十か年戦略」（「ゴールドプラン」）により、「寝たきり老人ゼロ作戦」が進められています。その一環として厚生省は今年の三月、「寝たきりゼロへの十か条」を発表しました。

「脳卒中と骨折予防、寝たきりゼロへの第一歩」

寝たきり原因の第一位は脳卒中（約三〜五割）で、次いで老衰（約二割）、骨折（約一割）と続いています。ですから脳卒中と骨折が寝たきりの原因の約

半分を占めることになり、この二つの病気を減らすことが、寝たきり予防の第一歩につながります。定期検診を受けて、成人病の早期発見・早期治療に努めましょう。

寝たきりは、寝かせきりからつくられる、過度の安静、逆効果

高齢者は、一週間寝こんだだけで筋肉の力が衰えたり、起き上がろうという意欲がなくなったりして、簡単に寝たきりになってしまいます。また、じっと寝かせておくと

うが本人も楽だし、介護する側も手がかからなくて楽だと錯覚しがちですが、実はそうではありません。寝かせきりにすると逆に病氣（肺炎、褥瘡など）を併発することが知られています。風邪やケガでも早く治して、安静期間をできるだけ短くするよう心がけることが大切です。

リハビリは、早期開始が効果的、始めよう、ベッドの上から訓練を

これまでわが国では、脳卒中の発作が起きたとき、安静第一が治療の基本と考えられてきました。しかし、いまではリハビリテーション（機能回復訓練）を早く始めれば始めるほど、機能の回復が見込まれることが分かっています。

特に、意識がはっきりしていないで全身の状態がよければ、発作の直後遅くとも一週間以内にはリハビリテーションを開始すべきだといわれています。

④暮らしのなかでのリハビリは食事と排泄、着替えから

リハビリの結果、歩行機能が回復しても、退院後、自宅に帰ってからの徐々に機能が低下して歩けなくなってしまうという例が少なくありません。

⑤朝起きて、まずは着替えて身だしなみ、寝・食分けて生活にメリとハリ

寝る場所と食事をとる場所の区別のない生活パターンは、外へ出る意欲を低下させ、閉じ込めりから寝込み、ひいては寝たきりへとつながります。体に障害が残っているからといって、一日中寝間着を着たままでの寝床で食事をとったりすることが習慣になると、生活にメリハリがなくなります。

一方、身だしなみを整えることは、外出の予定がなくても気分転換になったり、他人による印象を与えたりすることで自分

⑥「手は出しすぎず、目は離さず」が介護の基本、自分の気持ちを大切に

時間ががかっていても、自分でできることは自分でしてもらおうよう配慮しましょう。自分で実行する気持ちをもてるよう支援し

レベルのリハビリをする必要はありません。日常生活のなかで、当たり前の、そして最も基本的な動作（食事、排泄、着替えなど）を、体の動かせる範囲で、なるべく元気なところと同じように行うよう、心がければいいのです。

に自信がもてるなど、活動的な生活への動機づけになります。



て、心身の機能低下を招かないようにすることが大切です。また、安易なオムツの使用は、自尊心を傷つけ、生活意欲を奪います。さらに、社交性を低下させ、結果として寝たきりにさせがちです。

来年2月にサービス開始

登録制 利用受付は11月から

桜ヶ丘荘で デイ・サービス事業

ベッドから、移ろう移そう
車椅子 行動広げる機器の活用
寝たきり状態から自立を固っ
ていくためには、各種の機器を
活用することが効果的です。
ベッドで体を起こすことがで
きる人は、車椅子を利用して、
短時間でも毎日ベッドから離れ

ることを目標にしましょう。床
ずれの予防や食欲の向上につな
がります。また、寝食を区別す
るうえで、車椅子は重要な役
割を果たします。そして、車椅
子を使いこなせるようになった
人は、屋外に出ることを目標に
しましょう。

来年二月から特別費老人ホ
ームで、デイ・サービス事業が
開始されます。サービス開始に
先立ち、利用者の実態調査が来
月から行われます。

このデイ・サービス事業とは、
おおむね六十五歳以上の高齢者
をデイ・サービスセンターに招
いて、一日のんびりと入浴や食
事を楽しんでもらい、同時に健
康診査や日常動作の訓練などの
サービスが受けられるものです。
日常の身の回りのことを自分で
できるよう手助けし、またみん
なが集まることで高齢者の孤独
感をなくし、心身の健康を保ち
続けてもらうことが目的です。

▼利用対象者は

市内在住のおおむね六十五歳
以上の方で、バスの送迎に支障
がなく、入浴ができる状態の方
です。登録制で一週間に一回、
一日、二十人程度が利用できま
す。

▼サービス内容は

① 手すりつけ 段差をなくし
住みやすく、アイデア生かした
住まいの改善
高齢者は、障害がなくても、
筋肉の低下や平衡機能、目や耳
の衰えなどから転びやすくなっ
ています。手すりの取り付けや
段差の解消、すべり止めの処置
など、住環境を改善し、安全で
住みやすくする工夫が必要です。

② 給食サービス
③ 健康チェック
④ 入浴サービス
⑤ 介護
⑥ 日常生活訓練
⑦ 生活指導
などが主なものです。生活指導
員や看護婦など七人のスタッフが
が付き添いでサービスをします。

⑧ 利用料金は
給食、入浴等を含め、利用者
負担で一日七百円です。
▼来年二月にサービス開始予定
現在、桜ヶ丘荘の敷地内に浴
室、訓練室、食堂などを備えた
デイ・サービスセンター（鉄筋
コンクリート平屋、床面積四百
三十一・九一平方メートル）を建設中
で、来年一月に完成。二月から
サービスが開始される予定です。
▼利用受付は十一月から

民生委員の皆さんにご協力を
いただき、十月に利用者の実態
調査を行います。その後、利用
希望者の申請受付を行う予定
です。

デイ・サービスの一日

- 9:00	利用者の迎え
- 9:30	デイ・サービス センター到着 健康チェック
- 10:00	入浴 レクリエーション クラブ活動 リハビリテーション (機能回復訓練)
- 12:30	昼食
-	若返り体操 レクリエーション クラブ活動 リハビリテーション (機能回復訓練)
- 15:00	お茶・休憩
- 15:30	帰宅準備 センター出発
- 16:30	利用者の送り

⑨ 家庭でも社会でも よろこび
見つけ みんなで防ごう 閉じ
込もり
一日中、何もしないで家に閉
じ込もっていると、運動機能が
衰えたり、何かしようという意
欲を失ったりするため、寝たき
りの前兆になるといわれています。
家庭や社会で一定の役割を
もち、自主的な生活を送れば、
心身の機能低下を防ぎ、寝たき
りを予防することになります。



おどりの練習に励むおばあちゃんたち
(大川高齢者大学)

市長賞(小学生の部)

自分の手で空きかんと

田代小学校六年

築瀬 仁美



「みなさんは、目の前に空きかんが落ちていたらどうしますか」
多くの人は「拾う」と答えてくれると思いますが、なかなか自分の意志で拾うという事はできないのではないのでしょうか。私も、学校の行き帰りや友達の家遊びに行く時など、必ずといって言いほど二、三本の空きかんを見かけます。でも、いくら目の前に空きかんが落ちて

いるとわかっていても、あるいは心の中でそれを拾わなければいけないという気持ちがあっても、どうしても拾うことができなかったのです。

田代には、十ヶ所の空きかん入れ用のかんが設置してあります。PTAのおじさんは、

「田代の自然とやさしい人々の心をいつまでも大切にするために、この空きかん入れを設置したのでです」

ということを、話してくださいました。

ところが、そのかん入れが五百メートル間かくで、設置してあるのにもかかわらず、空きかんが路上に落ちてはいるのです。ひ

どい所では、十本くらい落ちてはいるところもありました。

「わたし、車から投げ捨てた人を見たことがある」

と友達から話を聞いたことがありません。空きかんを捨てる場所が設置してあるのに、なぜ路上へ投げ捨てるのでしょうか。

それは、部屋の中にゴミがあると、きたないと思うように、車の中に空きかんがあるとよばれると思うからでしょうか。みなさん、はたして、みんなの使う場所、住んでいる所がよくなっていてもいいのでしょうか。

六月、空きかん入れのかんが古くなってはいるということで、新しいかん入れを作ることになりました。かんを集めたり、ペ

ンキをぬったり、看板を作るなど一ヶ月ぐらいかけて作りあげました。古いかん入れを集めるために雨の日に出かけて行った父や母。本当に空きかん一本のために苦労しているんだなあと

思いました。でも、そればかりではありませんでした。

七月二十日の日曜日には、親と子どもで空きかん拾いをしました。前の日、仕事でくたくたになって帰ってきた父も朝早くからでしたが、汗びっしょりになって拾っていました。

「お父さん、そこまでしなくて



もいいんじゃない。どうせ、捨てる人がいるんだから」

「お父さんも、そう思うが、そんな人ばかりいたら、どうなると思う。捨てる人がいるから拾わなければならない。でも拾わ

されていると思うといやになる。だから、自分から拾って美しくしようという気持ちがあれば、楽しくなる。いっしょうけんめいになれるんだよ」

という顔中汗だらけになっていた父の言葉に自分はずかしくなりました。

空きかんを捨てないという心が一番大切なことだと思えますが、空きかんが落ちていたら拾おう、自分の手で拾って美しい郷土にしようという気持ちをみんなが持つと、もつともっと美しい町になるのではないのでしょうか。みなさん、ぜひ自分の手で空きかんを拾ってみませんか。

市教育委員会主催による市少年少女弁論大会が八月三日、市民会館大ホールで開催されました。九回目を迎えた今年は、小学生十一人、中学生五人の計十六人が出場。自分の体験などをもとに夢や友情をはじめ、地域づくりや福祉、環境問題など、各人が現在感じていることを五分間にわたり訴えました。

話の展開のうまさや堂々とした熱弁ぶりに、会場に訪れた父母や子どもたちから大きな拍手が送られていました。

他の入賞者は次のとおりです。

市長賞に

築瀬 仁美さん(田代小)
橋崎 大希くん(阿久根中)

少女弁論大会



熱弁をふるう子どもたち

少女弁論大会

市教育委員会主催による市少年少女弁論大会が八月三日、市民会館大ホールで開催されました。九回目を迎えた今年は、小学生十一人、中学生五人の計十六人が出場。自分の体験などをもとに夢や友情をはじめ、地域づくりや福祉、環境問題など、各人が現在感じていることを五分間にわたり訴えました。

話の展開のうまさや堂々とした熱弁ぶりに、会場に訪れた父母や子どもたちから大きな拍手が送られていました。

他の入賞者は次のとおりです。

市長賞に

築瀬 仁美さん(田代小)
橋崎 大希くん(阿久根中)

市教育委員会主催による市少年少女弁論大会が八月三日、市民会館大ホールで開催されました。九回目を迎えた今年は、小学生十一人、中学生五人の計十六人が出場。自分の体験などをもとに夢や友情をはじめ、地域づくりや福祉、環境問題など、各人が現在感じていることを五分間にわたり訴えました。

話の展開のうまさや堂々とした熱弁ぶりに、会場に訪れた父母や子どもたちから大きな拍手が送られていました。

他の入賞者は次のとおりです。

市少年



▼議長賞

※敬称略

古川景子(尾崎小)

半穂和香子(大川中)

▼教育長賞

新留太史(折多小)

奥平幸樹(大川小)

市長賞(中学生の部)

人との出会いの大切さ

阿久根中学校三年

橋崎 大希



僕は、平成二年度の初夏と晩秋に「阿久根良か同志学寮」に参加して、僕達、小・中学生に必要なのは、人との出会いを大切にしていく心だと思いました。色々な人との出会い、その人の生き方・考え方を参考にして、自分自身をつくっていくように

う意気込みが、今の僕達には必要なのです。そのためには、このような異学年で寝起きを共にしたり、共に飯を食べたり、共に行動して、意見をぶつけあう企画や機会が必要なのです。学寮に集まった仲間達は、小学三年生から中学三年生まで、みんな一人一人今の自分にあつた自分を持っていました。そんな仲間達から、色々たくさん学ばされました。参加したみんなも、この学寮での体験は、自分の考え方を決めるうえで大切な参考になったと思います。学寮では、十六泊十八日間、家族とも、テレビとも、おやつとも離れて、約四十名の良か同志達と、共に生活しました。初めての竹なべ炊飯、はんごう炊

飯、洗濯なども、とまどいながら体験しました。普段することのできないこういう体験は、人間を豊かにするためにとても役にたったと思います。

現在の時代に、無二の親友と呼べる友達を持つ人がいったい何人いるでしょうか。どんだん便利に豊かになっていく僕達の生活。裏腹にどんだんすすんで貧しくなっていく僕達の心。そのわけは、僕達が想像する人間関係像にあると思います。現在の日本だけでなく、先進国の人々の描く人間関係像は、「他人の邪魔をしない。他人から邪魔されない」という関係だと思えます。そうではなく、「困っている人には肩をかし、間違った道を歩みそうな人には間違いを教える」邪魔せず、邪魔されずの持ちつ持たれつでなく、助け、助けられてという持ちつ持たれつが本当の人間関係だと思えます。だから、そうできる人間に僕はなりたいと思います。自然破壊・環境汚染などとい

う言葉をよく聞く中、僕達は、学寮で、星の瞬を見ながら寝ました。波の音を、虫の声を聞きながら寝ました。自然を自分の心に感じると、心が和みます。「自然破壊をするな」などという言葉だけでは分からなかったけど、学寮に参加したことで、自然を破壊したらいけないと、肌で感じました。自然がなくなると、人間の心が安まるところはなくなってしまうのです。

学寮への参加は、自分が心の中に描きかけていた理想の人間像を完成させる上でも、その人間像に近づく上でも、大事な第一歩を踏みださせてくれました。この学寮に参加していなければ、一步目を踏み出せず、理想の人間像に近づくのも更に、遅れたと思います。これからは、このような企画があり、またそれに参加できるようだったらなるべく参加し、色々なことを体験し、それを心の糧にしていきたい。このようを得るべきことの多い

企画は、どんだん企画してほしい、自分という人間を形成するうえで重要な時期にある中学生には、どんだん参加してもらいたい。

これから、高校・大学・社会人と成長していく僕達は、前しか見えぬ眼ではなく、自分を取り巻く世界をまんべんなく見渡すことのできる心の眼をしっかりと見開いて、これから先、出会うていく人、みんなの個性を見つかることのできる心の眼をしっかりと見開いていくことが必要なのです。横波をくらってもぐらつかない心を持って、自分の道は、自分の力で切り拓き、一步一步踏みしめながら少しずつでもいい、確実に前進していきたい。



相 談

▼年 金(市役所)

9月20日(金)

10月21日(月)

10時~16時

▼税 金(商工会議所)

9月20日(金)

10月21日(月)

10時~15時

▼交通事故(市役所)

10月3日(木)

9時30分~16時



アルバム

731211 内線1214

チームワークよく日本一!

全国中学 剣道大会 大川中剣道女子が優勝

八月十九、二十日の両日、佐賀県総合体育館で開催された全国中学校選抜剣道大会において大川中学校の女子剣道チームが見事、優勝を果たしました。

大会には、各県大会を勝ち抜いた男女四十八チームずつが出場。大川中は持ち前のねばりとチームワークで、予選リーグ、決勝トーナメント戦と順調に勝ち進み、準決勝で愛媛県久万中を3対1、決勝で徳島県那賀川中を2対1で破り、栄冠を手に入れました。

牛之浜真由美さん(先ぼう)、奥平有香子さん(次ぼう)、下藤真由美さん(中堅)、牟禮和香子さん(副将)、牛之浜道子さん(大将)の五人のメンバーは、いずれも小学生のころから大川剣道少年団に入り、共に練習を

重ねてきた仲。

中学に入り、チームを組んでからは、県大会以上の大きな大会で、これまで通算七回の優勝を飾っています。今回も、先の九州大会(八月十一日)で優勝しているの、何とかやってくれろと思っていました。が、チームワークの良さと、みんな

が力を出し切ってくれたことで勝つことができました」と監督の下藤重志さん(70)も喜びを語っています。

選手の五人は現在、中学二年生。剣道少年団も今年で卒業。最後の夏に良い思い出がつけました。



見事優勝を飾った大川女子剣道チーム

レシーブは砂まみれ —阿久根大島でビーチバレー大会—

市観光協会主催のビーチバレーボール大会が8月18日、真夏の太陽が照りつける阿久根大島海水浴場で開催されました。3~4人が1組となって中学生から一般までの男子12組が出場。砂の上とあって、力技のアタックに加え、相手の隙をつくフェイントもかなり効果的。砂で思うように動きがとれない中、参加者は何とかボールを拾おうと倒れ込んでのレシーブを繰り返し、体中砂まみれになりながらハッスルプレーを披露していました。



成尾ルイさんが100歳

—1世紀の願 市内で4人目—

特別養護老人ホームに入園中の成尾ルイさんが百歳の誕生日を迎え、仲間たちから祝福を受けました。

成尾さんは明治24年8月1日生まれ。昭和60年から同園で暮らしています。耳が少し不自由なことと足が弱ってきたことを除けば、いたって健康食欲もあり、たまに焼酎をたしなむこともあるとか。誕生会では川畑文平助役が敬老祝金を贈り長寿を祝いました。



阿久根産のナシを初出荷 若い力一産地化に意欲

三笠町農協ナシ部会



みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい。

本市脇本柳野地区で、四年前から取り組んでいる露地栽培のナシが実をつけ、阿久根産のナシが市場へ向け初出荷されました。

ナシを栽培しているのは三笠町農協ナシ部会（大川内実志会長）のメンバー十八人で、いずれも二十代から四十代の若手農家。まだ木が若いため、玉の大ききもやや小さめですが、順調な生育にメンバーも「今後、地区の主要作物にしたい。」と意欲を燃やしています。



大事に育てたナシを収穫する栽培農家

そもそも従来手掛けてきた甘夏やミカン栽培が思わしくなかったことが、ナシ栽培に取り組んだきっかけ。四年前に「幸水」と「豊水」の二種類を導入し、先進地での研修や学習を重ねながら丹念に栽培を続けてきたものです。

本市の温暖な気候で、他産地より早い出荷が可能となり、幸水についてはお盆前、一回り大きい豊水についても八月中には出荷ができるとのこと。現在栽培面積は約四畝。この夏、幸水は約一斗、豊水は約三斗を鹿兒島や福岡へ向け出荷しました。

大川内会長（43）は、「ナシの場合、採算に乗るには七年から十年かかる。それまでじっくり育てたい。」と抱負を語っています。

メンバーが全員若いだけに、今後の規模拡大、産地化に期待が寄せられています。

マダイの標識放流も体験

—水産教室で多様な学習—

水産業への理解を求め後継者を育成する水産教室が、今年は8月7日～9日の3日間、市青年の家で開かれました。

参加したのは市内の中学生男女45人。網の修理の仕方やロープワーク、手旗信号など、数多くの体験を通し水産業のおもしろさや現状を学びました。今年は初めてクルマエビの稚エビ約2千匹が放流された他、マダイの稚魚に麻酔をかけて、背中に標識を打ち込む実習も行われました。



スズメさん 寄って来ないでネ

—子どもたちがユニークなかしを創作—

市中央公民館で8月26日、子どもたちによるかしの創作大会が開かれました。

参加したのは出水地区内の子ども会のメンバー約200人で、各グループごとにワラや針金、古着、座ぶとんなどを駆使し、「アンパンマン」や「となりのトトロ」などアニメの主人公や、顔だけの「お化けかし」などユニークなかきを次々と作り上げていきました。楽しい出来ばえに「スズメらも鑑賞しに寄って来るかも。」とは指導役の父母の弁。



「さかなの街」を強烈にPR

大盛況!! あくね新鮮おさかな祭り

県内外から
15,000人

阿久根の新鮮な魚貝類や多様な水産加工品を消費者に展示即売する「あくね新鮮おさかなまつり」が八月十六日、阿久根旧港で開催され、約一万五千人の人数でにぎわいました。

この祭りは、市漁協や鮮魚仲買組合、水産・塩干加工組合など水産関係者らが実行委員会を組織し、「おさかなの街あくね」のイメージ形成と、現在建設構想が進んでいる「お魚センター

(仮称)のムードづくりを行うと今年初めて開催したもので

まず、魚供養や小学生らによるマダイやヒラメの稚魚の放流が行われた後、午前十時にクス玉が割られ開場。かけつけた多くの買い物客で、会場となった水揚げ場はたちまち立錫の余地もない程に。

この日は活魚、鮮魚、塩干加工品、煮干し、缶詰など本市の水産物が一堂に揃えられ、市価よりも安い、この日だけの奉仕値で販売。どのコーナーも次から次へ押し寄せる客の波に対応

しきれない状況でした。なかでもいけすに泳ぐ魚を網ですくって販売する活魚コーナーには人が集まり、午前中に売り切れしてしまう程の盛況ぶりでした。

この他、イワシの宅配無料券が当たる抽選会やマイワシの網すくい、つけあげの実演販売などさまざまなイベントが行われ会場は一日中にぎわっていました。

今回の盛況をもとに、実行委員会では来年も開催を計画しており、継続的なイベントとして定着を図っていく意向です。



人気が集まった活魚コーナー



クス玉が割られ開場



どっちを向いても人ばかり



「早く友だちになりましょうネ。」

国際化時代に対応するため、市教育委員会では二年前から英語指導助手を設置し、中学生に英語の授業の中で、生の英語に接する時間を設けています。

三年目の今年はアメリカからアリス・ヒツカーソン先生(21)が来阿。来年七月まで市内四つの中学校で英会話や発音を中心に楽しい授業をしてもらいます。

ケンタッキー州出身の先生に阿久根市の印象を聞くと、「とても美しい街で、特にサンセットがきれいだ。街も丁度いい規模で暮らしやすい、人もとても親切です」と気に入った様子です。日本に来ようと思ったのは、日本の文化・歴史に興味を

「生の英語」教えます

アメリカからアリス先生

3人目の指導助手

市学校教育課では、中学校だけでなく、都合がつけば小学校等へも出向いてもらい、国際交流の和を拡げてもらいたいと先生の今後の活躍に期待しています。

地方の国際化が叫ばれる今日、子どもたちにとっても英語は必要性の高いものとなっています。中学生の皆さんも、アリス先生と早く友だちになって、英語を楽しく、上手に使えるようになるよう頑張らしましょう。



九州硬式少年野球連盟所属

オール阿久根

みんなで苦しみ みんなで喜ぶ

僕達のチームは、阿久根市内の小学生十八人、中学生十四人の野球の好きな子供が集まった硬式野球チームです。練習日は小学部は火・木・土・日曜日。中学部は月曜日を除いて毎日、由良球場で練習をしています。練習の内容は豊富で主に打撃、守備に力を入れています。監督は小学部が赤木高義さん、中学部が松永伝夫さん、その他コーチ達がいいます。監督、コー



チの指導は厳しく、その反面やさしい所もあります。年間の主な大会は北薩大会、出水大会、九州大会予選、指宿大会そして阿久根大会等たくさんある大会があります。また、このチームを卒業した先輩達は、野球の有力高校に進み活躍しています。僕達も毎日の練習に励み、先輩達に負けないようがんばっていきましょうと思います。十月には阿久根大会があり、

中学部は新チームで出場します。この大会には、かねての練習の成果を十分に発揮し、良い成績を残したいと思っています。

野球の好きな小・中学生の皆さん、僕達と一緒にプレーしてみませんか。

小学部主将 若松真太郎
(大川小六年)

中学部主将 久保 和之
(大川中三年)

郷土資料館の展示資料紹介

山内流居相抜留目録 ②⑧

国台道とか既合術というのは抜刀術といわれるものです。この創始者は奥州(東北地方)の人で林崎基助重信といわれます。元龜・天正(一五七〇—一五五二)条の項目が記されています。また中極意三ヶ条の中には、

(夢想流・林崎流・重信流)その後、田宮流、無樂流、伯耆流、関口流、一宮流などが相次いで現れました。

このほか、神道流、竹内流、一伝流、制剛流など流派も多く不伝流、水野流、無外流、一心流、影山流、立身流などは有名で江戸末期には二〇〇を超える流派があったといえます。

資料館に展示及び保管してあるものは、宝暦五年(一七五五)乙亥三月十七日付勝目九右衛門(八代安棟)が受けたものと、天明五年(一七八五)乙巳二月廿一日付勝目弥左衛門(九代安章)が受けたものです。山内流居相抜留目録と記してあります。三巻ありましてどれも縦は一八



勝目安行さん寄託

保 健 セ ン タ ー だ よ り

子宮がん検診のお知らせ

子宮がんで亡くなる人は、年ごとに少なくなっていますが、まだその数は4600人と多く残念なことです。特に高令者で検診を受けていない人に、手遅れのがんがあるようです。

初期のがんは自覚症状がほとんどなく、知らないうちに悪くなっていることが多いのですが、早期に発見し治療すれば100%近く治ります。このことから、定期的な検診が大切となります。

市では10月31日から子宮がん検診が始まります。短時間で終わる簡単な検査ですので、すすんで受けるようにしましょう。
へがんと予防12か条

- ① バランスのとれた栄養をとる
- ② 毎日、変化のある食生活を
- ③ 食べすぎを避け、脂肪はひかえめに
- ④ お酒はほどほどに
- ⑤ たばこを少なくする
- ⑥ 食べものから適量のビタミンと繊維質のものを多くとる
- ⑦ 塩辛いものは少めに、熱いものはさましてから
- ⑧ 焦げた部分はさける
- ⑨ かびの生えたものに注意
- ⑩ 日光に当たりすぎない
- ⑪ 適度にスポーツをする
- ⑫ 体を清潔に

10月の行事

40歳以上のコーナー

◎健康相談

期日	時間	場所
1日(火)	11:00~11:00	保健センター
1日(火)	9:30~10:00	尾崎公民館
	10:30~11:00	弓木野公民館
2日(水)	9:30~10:00	田代下公民館
	10:30~11:00	田代中公民館
8日(火)	9:30~10:00	市役所ロビー
	10:30~11:00	佐瀬公民館
11日(金)	9:30~10:00	大川地区公民館
	10:30~11:00	牛之浜公民館
11日(金)	9:30~10:00	脇本地区公民館

◎基本健康診査

期日	受付時間	場所
4日(金)	9:30~10:00	保健センター
	13:30~14:00	保健センター
8日(火)	◇	大渡公民館
9日(水)	◇	単人小体育館
14日(月)	9:30~10:00	保健センター
	13:30~14:00	鶴川内地区集会所施設
16日(水)	◇	松ヶ根公民館
25日(金)	◇	黒之上公民館

◎リハビリ教室

10月2日(水)、15日(火)
13:00~15:30 保健センター

母と子のコーナー

◎乳幼児健診

期日	内容	対象者	場所 受付時間
8日(火)	1歳6ヶ月児健診	H 2. 2. 16~2. 3. 15生	保健センター 13:00~13:30
16日(水)	3ヶ月児健診	H 3. 6. 1~3. 7. 15生	
23日(水)	6ヶ月児健診	H 3. 3. 16~3. 4. 15生	
25日(金)	3歳児健診	S 63. 2. 16~63. 3. 31生	

◎むし歯予防教室(フッ素塗布)

10月15日(火) 13:00~14:00 保健センター
対象者: 歯科検診終了後3ヶ月以内の者

◎母親学級

期日	時間	内容
10月18日(金)	13:30~16:00	●新生児の保育と妊産婦の生活 ●母親の心構えと子育て
11月1日(金)	9:30~13:00	●沐浴実習 ●調理実習(妊娠中の栄養)及び会食

◎育児相談

10月16日(水) 10:00~11:00 保健センター
対象者: H. 3. 8. 16~3. 9. 15生まれの乳児

◎幼児教室

10月25日(金) 10:00~11:30 保健センター
対象者: 3歳未満で保育園・幼稚園に通っていない幼児

※対象者には事前に連絡します。

在宅医さん

日曜・祭日の在宅医さんの診察時間は午前9時から午後5時までです。急患の方以外はご連絡ください。

○9月22日

有村産婦人科内科 ㉓ 4180 (栄町)

○9月23日(秋分の日)

上園医院 ㉓ 1055 (本町)

内山病院 ㉓ 1551 (高松町)

○9月29日

臨本病院 ㉓ 2121 (橋之西)

喜多医院 ㉓ 0038 (大丸町)

○10月6日

堀切産婦人科 ㉓ 0263 (高松町)

○10月10日(体育の日)

北園外科 ㉓ 0016 (本町)

○10月13日

林胃腸科外科 ㉓ 3639 (大丸町)

平医院 ㉓ 2626 (古里)

○10月20日

上野医院 ㉓ 0420 (本町)

○10月27日

呼吸器内科医院 ㉓ 0578 (琴平町)

※救急の場合、市民病院はいつでも対応します。

ワンちゃんのひきとり

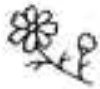
9月24日

10月1日・9日

10時から10時30分まで

出水保健所から保健センターにひきとりにきます

働く婦人の家だより



平成3年度働く婦人の家後期講座のご案内

～たくさんのご応募をお待ちしております～

ワープロ中級 (10名) 前回までの復習と一步すすんだ技術を 月・木曜日(11月のみ) 14:00～16:00 10回	昼 ↓	和歌学習 (20名) 和歌の心を探る 木曜日 10:00～12:00 15回
料理 (25名) 毎日の献立に役立ちます 金曜日 10:00～12:00 15回		パッチワーク (15名) あなたの個性を布で表現 火曜日 14:00～16:00 15回
ワープロ中級 (10名) 前回までの復習と一步すすんだ技術を 月・木曜日(11月のみ) 19:00～21:00 10回	夜 ↓	ストレッチングと健康体操(20名) 年齢を問わず、誰でもできます 月曜日 19:00～21:00 15回
お菓子作り (25名) 手作りの味がなによりです 火曜日 19:00～21:00 15回		アートフラワー (15名) 造花でくらしにうるおいをいかがですか 木曜日 19:00～21:00 15回
おもてなし料理 (25名) クリスマスと正月は手作りのおもてなし 11月～12月(土曜日) 14:00～16:00 4回	短期 ↓	男性料理 (20名) 手軽に作れるものから料理のコツまで 1月～2月(水曜日) 18:00～20:00 5回

※申し込みが著しく少ない講座は開講しない場合があります。

● 募集期間 9月20日(金)～9月30日(月)

● 募集要項

1. 開校期間……10月下旬～2月
2. 受講できる人……18才以上で市内在住か市内在勤の女性
3. 受講料……無料(ただし、材料費は実費負担)
4. 申し込み方法

下記の要領で往復ハガキ又は電話で申し込んで下さい。

(電話の場合は、後日ハガキ代をいただきます)

- (1) 希望講座名 第1希望・第2希望
- (2) 住所(区名)・氏名(ふりがな)・年齢・自宅の電話番号
- (3) 職業の有無(有の場合は勤務先・電話番号)
- (4) 託児の有無[有の場合は子供の名前(ふりがな)・生年月日]

受講時間内は保母が託児をいたします。(ただし、満2才～学齢前)
 夜間には行いません。

5. 受講は1人1講座ですが、募集人員に満たない場合は重ねて受講できる場合があります。

(応募者多数の場合は公開抽選を行います。10月2日(水)午前10時 働く婦人の家)

6. 開校日等については、後日ハガキでお知らせします。

[お問い合わせは] 阿久根市働く婦人の家 ☎73-3769

友だちの輪 ⑤2



黒之浜区
黒坂由美さん (25)

- 趣味 ジャズダンス、生花
- 好きな言葉 受けて忘れず与えて思わず
- 理想のタイプ 前向きに生きている人
- 思い出 学生時代の寮生活。不便な生活が今では懐しく思えます。

※次の友だちを紹介してください。

仲仁田区の花田恵さん
次はあなたの出番です。



図書館だより

▽竹内泰宏「少年たちの戦争」
▽サエキけんぞう「純情ロック病院」
▽いとうせいこう「からっぽ男の休暇」
▽小田実「ペトナムから遠く離れて」
▽三枝和子「女王卑弥呼」
▽瀬戸内寂聴「生きるよろこび」
▽バリー・ハナ「Dr・レイ」
▽竹山博英「ファイア戦争」
▽笹倉明「異郷のマテル」
▽平村良「晴れた空」
▽北杜夫「マンボウ氏の暴言とたわごと」
▽森村誠一「土魂の音色」
▽安部謙二「きのこ」
▽深田祐介「仮面海峡」
▽目下圭介

今月の新着図書

「セミコロノフは二度殺せ」
▽中津文彦「闇の天草四郎」
▽多島斗志之「不思議島」
▽清水義範「ムイミダス」
▽宮内勝典

「この惑星こそが楽園なのだ」
▽芹沢光治良「人間の生命」
▽坂上弘「優しい淀泊地」

寄贈紹介

札幌市在住の法福修佳氏(上野区出身)と新町区の石山謙三氏より、市立図書館へ浄財の寄付がありました。ありがとうございました。それぞれ法福文庫、石山文庫として活用します。御利用ください。

“善意”

寄付相次ぐ

図書館だよりの中でもあったように、北海道札幌市在住の法福修佳さん(49)と奥さんの則子さんが、この程市役所を訪れ、「市勢発展のため役立ててください」と二百万円を寄付されました。(写真左)法福さんは本市上野区出身。

市では子どもたちの教育に活かそうと全額、市立図書館の施設充実に使用させていただきます。ありがとうございました。



阿久根短歌会

集団の声にはずるる蟬ひとついづくに去りしか聞こえずなりぬ
琴平 川畑スミ
青空に仰向きながらかかはらぬ
口あきぬるき目薬をさす
高之口 松永光志

去年の夏くもの巣払ひし夫憶ふ
今宵は子らと迎へ火を焚く
大丸 橋崎 幸
合歡の花終りしあとも葉の茂り暮るるに早くとじて垂りある
臨本 赤崎タエ

老いてなほ吾の命のある限り戦
災うけしかの日忘れじ
上野 河南誠一郎
船釣りし小川も蔵つみし丘も河
川工事に面影もなし
赤瀬川 新坂 邦

ホースにて幼が庭に水まけば夕
日に虹が鮮やかにたつ
臨本 宮原穂子
遇ごとに帰り来る娘に目もちよ
き品のかづかづ作りて持たす
赤瀬川 遠矢 律

また、新町区の石山謙三さんより「図書の充実と身体障害者の福利向上に役立ててください」と六十万円の寄付がありました。本当にありがとうございます。

高串の宿に來たればまのあたり
天草の島いづこにも見ゆ
臨本 土田芙蓉子
迎火を縁先につり仏前に経読み
すれば心足らへり
赤瀬川 築瀬 紀夫

誕生

おめでと



出生児	保護者(区名)	※敬称略
石澤 沙織	利幸(上原)	
倉津 奈葉	守(大丸)	
跡上 惠史	勝男(黒之浜)	
池田采也可	明(高之口)	
金丸 夏実	秀光(大林)	
飯屋園広人	幸人(牧内)	
馬場奈瑠美	陽一(古里)	
花木重有理	栄二(仲仁田)	
遠矢奈都美	隆(榊)	
懸野崎 剛	栄司(湯)	
永野 敬子	公博(折口東)	
井手 奏実	哲志(町)	
峯 和弥	義明(牧内)	
梶尾 美咲	光幸(黒之浜)	
米丸 蘭	俊一郎(湯)	
神之田主吾	康宏(寺山)	
森枝 佑太	正和(湯)	
執印 一矢	恒生(波留)	
大渡沙耶香	憲男(大渡)	
知識 惠美	勝彦(折口東)	
松本 誠義	大策(中村)	
大田 潤記	和文(尻無中)	

給油所の日曜当番店

○9月22日	松永石油(牛之浜) 031342
	落合石油(上原) 050052
○9月29日	丸久石油(赤瀬川) 020657
	田中石油(大川) 040039
○10月6日	マルハ商事(湯) 021555
	池上石油(新町) 020807
○10月13日	阿久根石油(湯本) 020389
	築瀬石油(赤瀬川) 020807

社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返しのお礼が寄せられました。ありがとうございます。

- 花水スガノ(弓木野) 中西豊 (高松) 西スエノ(内田) 小田原ミク(山下馬場) 園田修(古里) 磯畑ツキエ(上野) 波留正男(波留) 青木貞夫(丸内) 榎木稔(大丸) 尾上古春(飛松) 中西ヨシ子(高松) 鮫島ツル(湯本馬場)
- ▼篤志寄付
昭和四十六年阿久根中卒業生一同
▼雲仙災害義援金

ごめいふくをお祈りします

死亡者	年	給	名	※敬称略
園田 榮	80	(古里)	修	
小村ツルマツ	94	(瀬之下)	二年	
橋口 静枝	77	(波留)	金田	
小田アキノ	84	(深田)	清喜	
青木 時義	71	(丸内)	貞夫	
榎木キヌエ	60	(大丸)	稔	
花木 宗助	92	(的場)	俊宗	
松木 深	77	(瀬之下)	功	
鮫島登志夫	83	(湯馬場)	ツル	
牛之濱スギノ	64	(牛之浜)	利衛吉	
新郷 庄吉	96	(高松)	一郎	
川畑 厚	67	(川畑中)	ツヤ子	
佐瀬 チエ	84	(佐瀬)	純義	
松下 清春	74	(段)	サイ	
尾上ツタエ	84	(飛松)	吉春	
中西 重市	62	(高松)	ヨシ子	
下瀬 惠熊	79	(古里)	ミエ	
鶴田 純徳	69	(田代下)	スミエ	
久保 登	76	(牛之浜)	テルノ	

篤志寄付

雲仙・普賢岳災害の義援金として市民の皆様からあたたかい善意が寄せられました。この義援金は赤十字を通じて、被災者の方々へ送られます。義援金総額(八月末日現在) 百五万三千八百六十四円

広報紙送付のお礼にと、東京都三鷹市の牛之浜広幸さんから寄付をいただきました。ありがとうございます。

豊かな未来は心の健康から

第33回 心の健康づくり県民大会

日 時 10月16日(水) 13時

場 所 阿久根市中央公民館

特別講演 富永秀文先生(鹿大医学部助教授)
「心の病の種類とその対応」
メンタルヘルスケアについて

地域社会における精神保健に関する理解を深め、県民の精神的健康の保持向上を目的に開催します。多数のご来場をお待ちしています。

第45回阿久根市総合文化祭

期 日 11月2日(土)・3日(日)

※ただいま、展示と演芸の部の出品および出演者を募集中!

演芸の部は、9月24日(火)まで市社会教育課まで申し込んで下さい。☎021051

展示は11月1日に、会場へ搬入してください。



引揚者の皆様へ

平和祈念事業特別基金においては、先の大戦に際し本邦以外の地域から引き揚げた方々（注）に対し、書状（内閣総理大臣名）を贈呈することになりました。書状の贈呈は、請求に基づいて行うこととしておりますので書状の請求をされる方は、「平和祈念事業特別基金」へ直接請求書類を送付してください。請求書類は同基金の他、市福祉事務所にも置いてあります。なお、請求書類の受け付けは平成3年9月2日から行います。

道路台帳整備に伴う航空写真撮影にご協力を

阿久根市道路台帳の整備に伴い、9月上旬より現地測量を実施しています。現在、航空写真撮影の目標物として、市内全域の基準点に対空標識（白のペニヤ板20°角、又は10°×20°の3枚羽）を設置しています。

関係者の方には大変ご迷惑をお掛けしていますが、大切な測量ですので、航空写真撮影が完了するまで、標識を移動したり壊したりなさらないよう、ご協力をお願いいたします。

▶対空標識設置期間

9月初旬から撮影完了まで

▶撮影期間

10月初旬～11月下旬予定

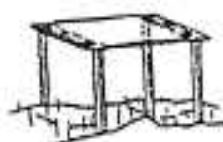
▶測量担当者

朝日航洋株式会社

詳しいこと、問い合わせは市建設課まで

☎1211 (内) 1123

対空標識の例



人口	
住民基本台帳人口と世帯数	9月1日現在
	()は8月1日から
人口	28,277 (-12)
男	13,081 (-7)
女	15,196 (-5)
世帯数	10,342 (-4)

国および県では例年9月を障害者雇用促進月間として障害者の方々の雇用促進運動を展開しています。各種のハンディキャップを有する障害者の方々が、働く場を得て社会経済活動に参加し、そこに生きがいを見出し出していく

9月は「障害者雇用促進月間」

9月

行政相談の実施について

10月13日(日)～19日(土)までの一週間、全国的に「行政相談週間」として各種行事が実施されます。この行事の一環として、行政相談委員の橋本一尊さんが、次の日程で相談所を開設されます。行政に関する苦情、意見、そ

ト)消毒及び醗酵清と、水切りバケツ用切り袋を、次の店舗でも販売していますのでご利用下さい。
○Aコープ三笠店 ○だいわ阿久根店 ○Aコープ大川店

の他相談ごと等がありましたら是非、この機会をご利用下さい。相談は「無料」で、「秘密」は厳守します。
▼日時 10月19日(土) 9時～10時
▼場所 大川地区公民館
なお、その他の日も尻無下区の自宅で相談を受け付けています。☎0142

第8回ボンタンロードレス大会 12/8(日)開催決定

ことができるとともに、皆さんの積極的なご協力をよろしくお願い致します。なお、各種雇用助成金制度の援護措置もありますので、詳しいことは公共職業安定所でお訪ねください。

編集後記

「住民参加のまちづくり」という言葉をよく耳にします。大きくは、住民の意見をまちづくり(行政)に反映しようという意味だと思いますが、この言葉には、単なる発言だけでなく、実際の行動も求められているものと考えます。「新鮮おさかな祭り」や「ナシの初出荷」などその動機づけは経済変化や時代の流れなどとしても、自分たちで何かをやるうとする意欲には敬服させられます。まちづくりにはアイデアに加え、理論や経験が重要。行動の伴った発言が人を動かし、まちをつくっていくものかもしれません。(貴)